

気象台ノート

100年間の気候の変化

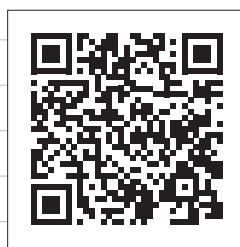
室蘭地方気象台は、大正12年（1923年）1月1日に室蘭港発祥の地であるトキカラモイ（現在の室蘭市緑町）で、船舶の安全と漁船の遭難防止のため「室蘭測候所」として業務を開始しました。昭和27年（1952年）に現在の室蘭市山手町に移転し、その後、昭和32年（1957年）に地方気象台へ昇格し、令和5年1月1日で創立100周年を迎えました。

この100年間で、室蘭の平均気温は0.9度の割合で上昇しました。気温の推移を最高・平均・最低気温に分けて見てみると、最低気温の上昇率が高いことが分かります。室蘭だけではなく、胆振・日高地方の全ての観測所において設置当時から現在までの平均気温は上昇しています。

地球温暖化が進行すると、更に気温が上昇し雨の降り方が激しくなり、大雨による土砂災害や洪水災害の増加が考えられます。

温暖化の影響は、植物の生態にも現れています。室蘭の桜の開花日（平年5月4日）は、昭和の時代には大型連休の「こどもの日」より遅く咲くことが多かったのですが、ここ数年は「こどもの日」より早く開花することが多くなりました。全国の気温や降水量などの気象観測データ、桜の開花日などの生物季節観データは、いずれも気象庁のホームページで検索できます。また、気候変動に関するポータルサイトもありますので、ぜひ一度ご覧になってください。

私たちの身近な気象データから、気候変動について考えてみませんか。



過去の気象データ検索



地球環境・気候

問い合わせ 室蘭地方気象台 ☎0143-22-4249

住宅用火災警報器を設置しましょう

住宅用火災警報器の設置は、消防法で義務づけられています。町内の設置率は1月末時点で全世帯数の92.2%です。胆振東部消防組合消防署厚真支署では未設置の住宅への普及・促進に取り組んでいます。



問い合わせ
胆振東部消防組合
消防署厚真支署
☎26-7119

住宅の寝室がある階によって住警器の設置場所は異なります

住警器は、基本的に寝室と寝室のある階の階段上部に設置することになっています。平屋建て、2階建て、3階建て住宅を例に説明します。

- 平屋建て…寝室に設置します。
- 2階建て…1階に寝室がある場合は寝室へ、2階に寝室がある場合は寝室と2階の階段上部、1・2階に寝室がある場合はそ

れぞれ寝室と2階の階段上部への設置が必要です。

- 3階建て…1階に寝室がある場合は寝室と3階の階段上部、2階に寝室がある場合は寝室と2階の階段上部、3階に寝室がある場合は寝室と1・3階の階段上部です。このほか、火災の出火原因で最も多い台所への設置も推奨しています。